



新潟地方气象台によると、**向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間はほぼ平年並みの**予報です。近年の春先の天候は不安定かつ気温差も大きい**ため、ヤケ苗、ムレ苗などの温度障害に注意して育苗管理を行いましょ**う。

JAみなみ魚沼管内 令和4年度土壌調査結果

JAでは、肥料価格高騰対策の一環として地域基準圃の土壌分析調査を行いました。今回の土壌分析では、管内の土壌は**ケイ酸と鉄が少ない**傾向となっています。ケイ酸、鉄が水稻に必要な不可欠な成分であることから改めて**土づくり資材の活用**を検討していきましょう。

六日町地区・大和地区

	有効態リン酸 mg/100g	陽イオン交換容量 CEC me	交換性塩基			有効態ケイ酸 mg/100g	遊離酸化鉄%	
			石灰 mg/100g	苦土 mg/100g	加里 mg/100g			
目標値	10	低地土15~20 黒ボク20	170	30	17	低地土15 黒ボク25	1.5	
六日町	小栗山	10.1	15.2	98	13.5	17.7	14.7	3.0
	宮	50.3	17.1	278	20.7	11.9	9.3	1.1
	青木新田	29.6	10.3	176	18.9	19.4	7.8	0.8
	干溝	23.2	14.6	181	25.4	15.1	7.2	1.9
大和	雷土	73.6	17.8	183	36.8	18.5	8.9	1.4
	水尾	23.2	10.6	129	18.6	16.1	7.9	0.8
	九日町	14.4	9.9	103	15.9	6.0	7.0	1.0
	五箇	25.3	9.8	124	18.1	8.7	8.2	1.0
JA管内平均値		27.6	14.4	173	24.5	15.0	10.3	1.4

塩沢地区・湯沢地区

	有効態リン酸 mg/100g	陽イオン交換容量 CEC me	交換性塩基			有効態ケイ酸 mg/100g	遊離酸化鉄%	
			石灰 mg/100g	苦土 mg/100g	加里 mg/100g			
目標値	10	低地土15~20 黒ボク20	170	30	17	低地土15 黒ボク25	1.5	
塩沢	上一日市	15.0	18.0	302	38.0	20.4	13.7	1.3
	上野	20.2	19.3	300	44.1	9.4	12.6	1.6
	天野沢	6.2	21.6	265	66.1	15.1	22.5	1.5
	島新田	15.5	14.5	256	43.2	30.6	14.1	1.3
	大里	25.7	8.1	70	10.6	12.5	5.6	0.9
	舞子	15.4	7.9	60	8.1	12.4	5.8	0.9
	早川	38.0	11.6	96	12.8	6.3	5.9	1.1
	上神字	27.7	15.2	196	25.4	16.1	16.2	2.6
湯沢	神立	52.0	18.0	139	16.2	14.4	8.1	1.0
	中里	31.3	20.2	151	8.8	19.4	10.4	1.4
JA管内平均値		27.6	14.4	173	24.5	15.0	10.3	1.4

※次ページ以降におすすめ土づくり資材を掲載しています。

土壌分析結果を踏まえた土づくり資材のご提案

分析結果を踏まえ、以下のように施肥例を作成いたしましたので、令和5年産米の施肥設計の見直しにご活用ください。また、近年は異常気象による品質低下が懸念されています。継続的なケイ酸質資材の施用は、気象災害に対して被害軽減の効果が期待できるため、積極的に施用しましょう。

<ケイ酸・鉄成分のおすすめ資材>

○スーパーシリカプレミアム 10a当り目安量：60～80kg



◎おすすめ地区

- <六日町>小栗山、宮、青木新田、干溝
- <大 和>雷土、水尾、九日町、五箇
- <塩 沢>上一日市、上野、島新田、大里、舞子、早川
- <湯 沢>神立、中里

◎資材説明

- <成 分>ケイ酸 30、苦土 2、アルカリ 40、リン 2.7
- <特 徴>高溶出ケイ酸の割合が高く、少量でもケイ酸の効果が期待できます。
ケイ酸による倒伏軽減、高温障害の影響緩和対策に適します。

○ソイルキーパーFe 10a当り目安量：60～100kg



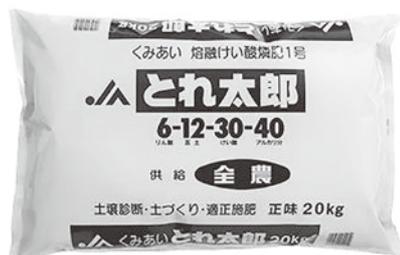
◎おすすめ地区

- <六日町>宮、青木新田
- <大 和>雷土、水尾、九日町、五箇
- <塩 沢>上一日市、島新田、大里、舞子、早川
- <湯 沢>神立、中里

◎資材説明

- <成 分>アルカリ35、ケイ酸13.5、苦土1.5、鉄19
- <特 徴>ケイ酸、苦土のほか、鉄を多く含む資材。砂地、黒ボク等で秋落ちする圃場に適します。ワキが多発する圃場にも対策として有効です。

○とれ太郎 10a当り目安量：60～80kg



◎おすすめ地区

- <六日町>小栗山、宮、青木新田、干溝
- <大 和>九日町、五箇
- <塩 沢>大里、舞子、早川、上神字

◎資材説明

- <成 分>ケイ酸30、苦土12、アルカリ40、リン6
- <特 徴>高溶出ケイ酸の割合が高く、少量でもケイ酸の効果が期待できます。苦土(マグネシウム)が豊富に含まれているため、食味向上を図れます。

○みつパワー 10a当り目安量：60kg～120kg



◎全地区共通

◎資材説明

- <成 分>ケイ酸 25.1、マンガン 10.0、苦土 2.7、カルシウム 21.7、鉄 1.7
- <特 徴>低コストでケイ酸、苦土による土づくり効果のほか、慢性的に不足しがちなマンガンを含み、ごま葉枯れ病対策に効果があります。比較的安価な資材であり、継続的に土づくりを行っている圃場での活用がおすすめです。

令和4年度土壌分析結果の活用による標準施肥例（コシヒカリ）

この度の土壌調査分析を活用した下記の施肥例は、国の「みどりの食料システム戦略」に合わせ、化学窒素使用量を削減した施肥例となっています。

◎地域慣行基準比3割削減例

区分	肥料名	含有成分 (%)			施肥目安 (10a/ kg)	窒素成分合計 (kg)	うち化学窒素 (kg)
		N	P	K			
土づくり	ソイルキーパー F e	-	-	-	60 ~ 100	-	-
基 肥	有機30魚沼ロマン側条専用	12	15	12	25 ~ 35	3.0 ~ 4.2	2.1 ~ 2.9
追 肥	スーパーシリカプレミアム	-	-	-	20 ~ 40	-	-
穂 肥	有機30魚沼ロマン穂肥専用	12	4	10	9 ~ 13	1.0 ~ 1.5	0.7 ~ 1.0
	有機30魚沼ロマン穂肥専用	12	4	10	9 ~ 13	1.0 ~ 1.5	0.7 ~ 1.0
窒素成分合計（地域慣行基準：7.0kg）						5.0 ~ 7.2	3.5 ~ 4.9

◎地域慣行基準比5割削減例 ※特別栽培米要件とは異なります。

区分	肥料名	含有成分 (%)			施肥目安 (10a/ kg)	窒素成分合計 (kg)	うち化学窒素 (kg)
		N	P	K			
土づくり	ソイルキーパー F e	-	-	-	60 ~ 100	-	-
基 肥	越後の輝き 有機50元肥	10	13	10	30 ~ 38	3.0 ~ 3.8	1.5 ~ 1.9
追 肥	スーパーシリカプレミアム	-	-	-	20 ~ 40	-	-
穂 肥	越後の輝き 有機50穂肥	12	2	8	9 ~ 13	1.0 ~ 1.5	0.5 ~ 0.8
	越後の輝き 有機50穂肥	12	2	8	9 ~ 13	1.0 ~ 1.5	0.5 ~ 0.8
窒素成分合計（地域慣行基準：7.0kg）						5.0 ~ 6.8	2.5 ~ 3.5

◎地域慣行基準比10割削減例 ※特別栽培米要件とは異なります。

区分	肥料名	含有成分 (%)			施肥目安 (10a/ kg)	窒素成分合計 (kg)	うち化学窒素 (kg)
		N	P	K			
土づくり	ソイルキーパー F e	-	-	-	60 ~ 100	-	-
基 肥	有機アグレット 825eco	8	2	5	60 ~ 80	4.8 ~ 6.4	-
追 肥	スーパーシリカプレミアム	-	-	-	20 ~ 40	-	-
穂 肥	バイオノ有機 S	7.2	4	2.5	14 ~ 21	1.0 ~ 1.5	-
	バイオノ有機 S	7.2	4	2.5	14 ~ 21	1.0 ~ 1.5	-
窒素成分合計（地域慣行基準：7.0kg）						6.8 ~ 9.4	-

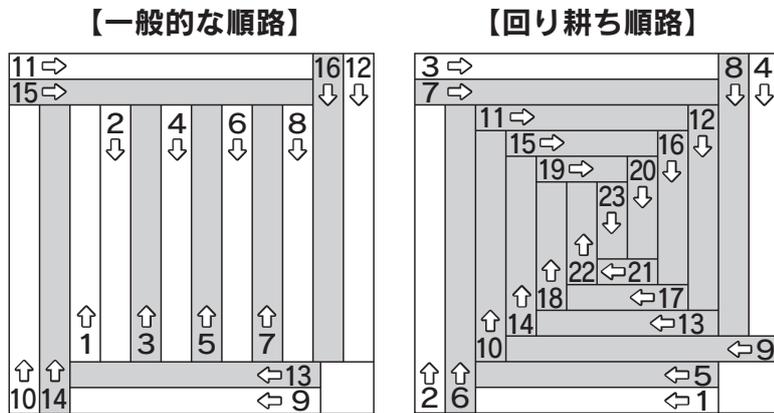
※使用資材、使用量は目安となります。各圃場の生育状況に合わせてご検討ください。

稲作技術情報

～ 丁寧な本田作業を心がけましょう ～

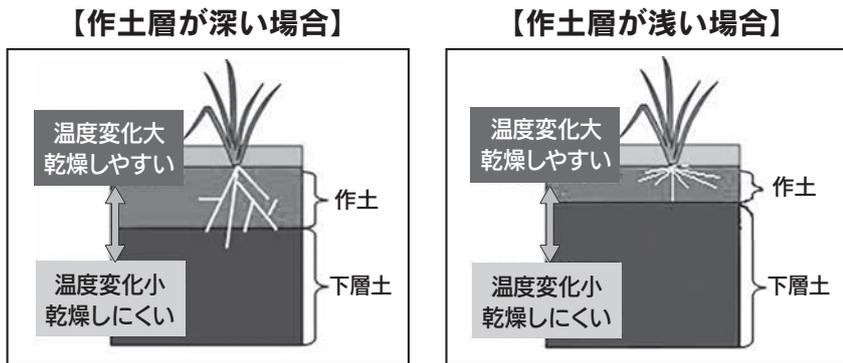
1. 耕深15cmの確保による根域確保

根量を増加させ、健全な発達を図るには、作土層で根が十分に張れるスペース（根域）を確保する必要があります。耕深15cmを目標に圃場が乾いた状態で耕起しましょう。



《回り耕ちで15cm確保》
 耕深15cmを確保しやすくするために「回り耕ち」をおすすめします。ロータリーの左側にチェーンケースがある場合は、時計回りに耕起することでチェーンケースが耕起した部分に潜り深耕作業を行えます。
 ※作業時間に大きな差はありません。

図1 水田土壌断面図



《耕深15cmで根を健全化》
 稲の根の8割以上は、作土層に分布し、生育に必要な栄養の多くを作土層から得ています。
 作土層が浅いと、根が上部に集中し、高温や乾燥に対する水稻の抵抗力が低下します。

(令和2年度改定版 新潟米おいしい米づくりのポイントより)

図2 作土深別収量

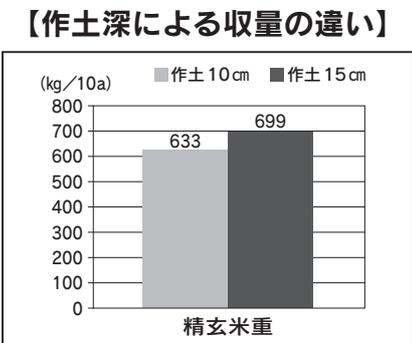
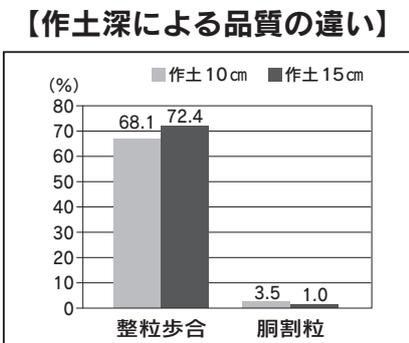


図3 作土深別整粒歩合及び胴割粒発生率



《根域確保で高温対策》
 高温年でも耕深15cmを確保した圃場では、図2のように収量が安定し、整粒歩合が高く、胴割粒の発生も少なくなりました。

(H24作研センターより)

～ 耕起の注意点～

圃場が過湿の状態では耕起すると悪影響（深さが不均一、稲わらが腐らない、還元状態による生育不良）が発生するため、必ず乾いた状態で耕起しましょう。

2. 丁寧な代かきで環境配慮

代かきは、移植の2～3日前に実施しましょう。代かきから移植までの期間が長いと、雑草の生育が進むことから、初期剤などを使用した雑草防除が必要となります。また、代かき直後の移植は浮き苗などによる欠株が生じやすくなるため、計画的な作業の実施に努めましょう。

被覆肥料のプラスチック殻の流出防止対策にご協力ください

被覆肥料（粒状一発肥料等）は、施肥回数減による労力軽減などの優れた特徴を持っている反面、肥料成分が溶出した後のプラスチック殻が特に代かき時に水面へ浮遊しやすく、圃場から河川等へ流出する可能性があります。圃場から流出させない取り組みにご協力ください。

～流出防止のポイント～

畦畔管理	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な畔塗りで漏水を防ぎましょう。 ・止水板は畔の高さ程度とし水尻からの流出を防ぎましょう。
代かき、田植え時の水管理	<ul style="list-style-type: none"> ・代かきは、ワラが浮かない程度の水量で行いましょう。 ・田植え時は強制落水せず自然落水で水位を調整しましょう。

3. 初期除草剤による早期雑草対策

作業日程や用途に応じた、的確な初期除草剤を散布しましょう！

代かきから移植まで1週間以上空く場合は初期除草剤（移植前処理）を検討しましょう。

※散布時は、水深3～5cm程度湛水し、水口と水尻を必ず止めてください。

品名	使用量(10a)	使用時期
ユニハーブフロアブル	500 ml	代かき（植代）後～移植7日前 移植時
草笛フロアブル	300 ml	
メテオ	1キロ粒剤	移植直後～ノビエ1.0葉期(但し、移植後30日まで)
	フロアブル	
アークエース 1キロ粒剤	1 kg	代かき（植代）後～移植7日前 移植時 移植直後～ノビエ1.5葉(但し、移植後30日まで)

定番商品

定番商品

低コスト

藻・表層はく離対策

【初期除草剤の移植前処理から移植まで】

日付	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土
日数	移植7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	移植日(0日前)
移植7日前処理	初期材散布	×	×	×	×	×	×	○ 移植可能

◎前作と違う品種を作付けする場合の対策

前作の漏生粉による異品種混入（コンタミ）防止のために初期除草剤（ユニハーブフロアブルやソルネット1キロ粒剤等）の散布を検討しましょう。

園芸技術情報

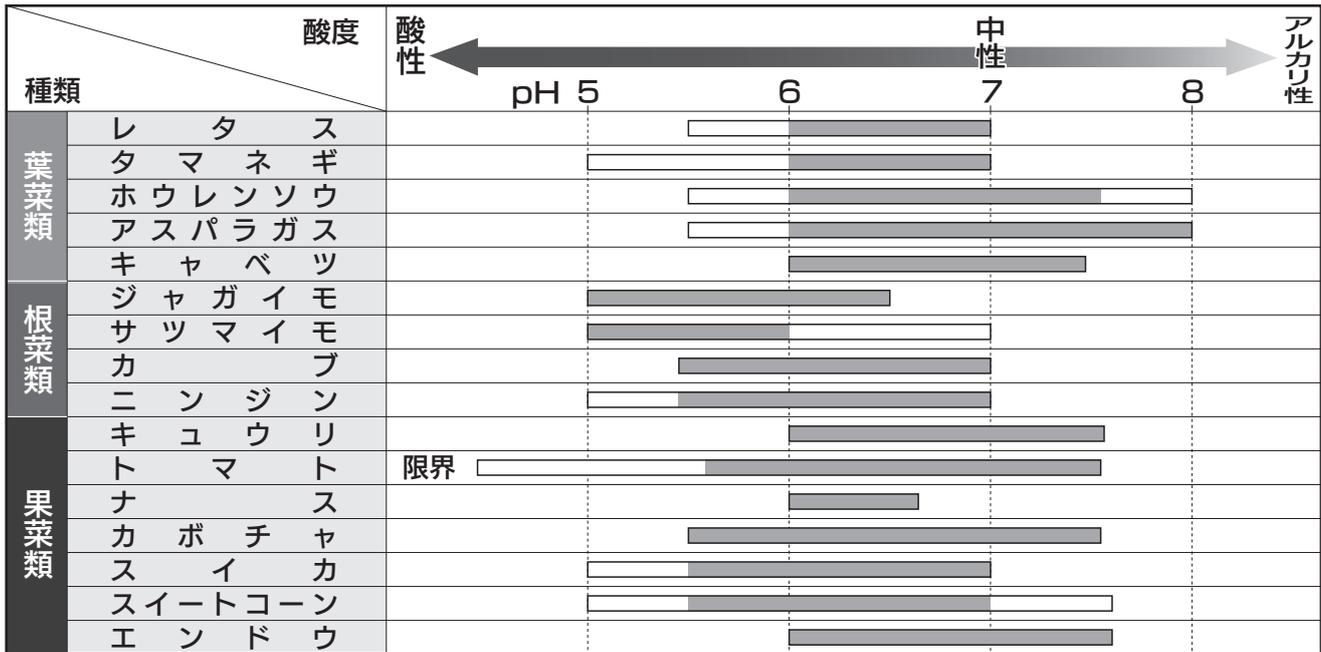
良い野菜を作るには土づくりが欠かせません。
春の定植シーズン前に2つのポイントとおすすめ資材で土づくりに力を入れましょう。

ポイント1

野菜が好む土の酸度

野菜にはそれぞれ成長しやすい酸度の値があり、pH（ペーハーまたはピーエイチ）値で表されます。

〔野菜別の好酸度〕



上図を確認すると、一般的に野菜を作る場合pH6.0～6.5程度が理想的な土であると考えられますが、日本の一般的な土はpH5.0～5.5と酸性側にかたよっていることがほとんどです。野菜が成長しやすい酸度にするためには現状の酸度を確認し、酸度矯正することをおすすめします。

●おすすめ資材

資材名	特徴
粒状苦土炭カル (M-10)	アルカリ分55% 粒状で撒きやすい。 耕耘後3日程度で播種・定植可能。
DL消石灰 (粉状)	アルカリ分72% 耕耘後1週間ほどで播種・定植可能。
畑のカルシウム	pH調整効果なし。 pH調整できないがカルシウム供給がいるジャガイモなどに効果的。

●pH調整に必要なおおよその石灰量 (10㎡)

土壌酸度	目標酸度	pH5.8	pH6.0	pH6.2	pH6.4
		pH 5.5～5.0	苦土炭カル	0.25～0.75kg	0.45～0.90kg
消石灰	0.20～0.50kg		0.30～0.60kg	0.45～0.75kg	0.55～0.85kg

ポイント2 肥料

肥料は野菜が育つために必要なものです。その中でも肥料の三要素と呼ばれるものは野菜の各部位に欠かせない養分です。

肥料の三要素

	特 徴
窒 素 (N)	葉肥とも言われ、作物の葉を茂らせ、枝や茎を形成する。
リン酸 (P)	実肥・花肥とも言われ、開花や実の成熟に関係する。
カ リ (K)	根肥とも言われ、根の発育や耐寒性、耐病性を高める。

※他の要素として中量要素のカルシウム (Ca)、マグネシウム (Mg) や微量元素である、マンガン (Mn)、亜鉛 (Zn)、ホウ素 (B)、鉄 (Fe)、モリブデン (Mo)、硫黄 (S) などがあります。

●おすすめ資材

資材名	施用量 (10 m ²)	説 明
MMB燐加安 [14-10-13] <small>N P K</small>	1.0 ~ 2.0kg	微量元素を含む畑専用の化成肥料であり、園芸のオールマイティ肥料です。
果菜一発 [15-10-10] <small>N P K</small>	2.0 ~ 3.0kg	露地果菜類の全量元肥の一発肥料。窒素分は速効性の尿素のほか、有機質の菜種粕、および緩効性はロング(120日)・LPコート(100日)など3種類を含み、基本的には追肥はいらない。
ばれいしょ配合 [12-12-14] <small>N P K</small>	1.0kg	ばれいしょ専用肥料、生育に有効な腐植酸を約7%含む。
ネギ専用S403 [14-10-13] <small>N P K</small>	元肥 0.4kg 追肥 1.2kg	緩効性窒素のLPコート40とネギの生長に必要な硫黄分を含む。ネギの元肥・追肥の両方に適する。
NK化成 [18-0-18] <small>N P K</small>	適宜	窒素成分のうち、速効性の硝酸態窒素を50%含む。即効性なので、特に追肥に適する。



秋定植の園芸品目を融雪直後に追肥し、肥大を促しましょう。

【イチゴ】

- 越冬時に損傷した葉や枯葉を取り除く。
- 追肥は枯葉かき終了直後に遅れずに施す。



追肥資材	10m ² 当たり
MMB燐加安	0.4kg

【タマネギ、ニンニク】

- 1回目の追肥は融雪直後早めに行う。
- 2回目の追肥は1回目から1か月後に行う。



	追肥資材	10m ² 当たり	
		1回目	2回目
タマネギ	N K 化成	0.3kg	0.4kg
ニンニク		0.3kg	0.3kg

注意 追肥が遅れると品質低下に繋がります。

～南魚沼市農業再生協議会からのお知らせ～

令和5年度 農産物ブランド力強化助成

南魚沼市農業再生協議会では、高品質・良食味米生産や複合経営の推進を目的として、機械・器具の購入費用の助成や、肥料・堆肥散布の作業委託費用の助成を実施します。

① 機械購入助成

高品質化や作業の効率化に資する機械の購入費用を助成します。

対象機械		助成割合	対象者	申請方法
園芸	運搬車	30% (上限20万円)	管内の 生産者	ご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。 申請用紙など、必要な書類を郵送いたします。 <u>機械を購入する前に申請が必要です。購入した後で申請しても対象外となりますので、ご注意ください。</u> 〈申請期限〉 7月31日(月)
稲作	葉緑素計 (SPAD)	30% (上限5万円)		
	米麦水分計			
土づくり	ブロードキャスター など	30% (上限10万円)		

② 肥料・堆肥散布作業委託助成

第三者にブロードキャスターによる肥料散布を委託したときや、市内業者に堆肥散布を委託した時の費用を助成します。

対象圃場	助成額	対象者	申請方法
管内の生産者が 経営する農地 (田・畑)	660円/10a (肥料散布・ 堆肥散布共通)	管内の 生産者	申請をご希望の方は協議会事務局へご連絡ください。 申請用紙など、必要な書類を郵送いたします。 <u>散布作業をする前に申請が必要です。作業をした後で申請しても対象外となりますので、ご注意ください。</u>

～JAからのお知らせ～

JAみなみ魚沼レンタル機械利用のご案内

春の訪れとともに野菜苗定植の時期がやってきました。JAでは、平高畝立て機や掘り取り機などの農業機械レンタルを行っております。ご利用を希望される方は営農指導課までご連絡ください。

営農指導課 (大和 電話 025-777-3786 塩沢 電話 025-782-1171)



JAみなみ魚沼 営農部 LINE登録者募集!!

品質・収量の高位安定化を図るため、作業の「適期」をよりタイムリーに配信していきますので、是非ご利用ください。
QRより登録をお待ちしております。

ご登録をお待ちしております!



JAみなみ魚沼 営農部
LINE QR



次号「あぜみち」予告

- 稲作…田植え作業・本田初期管理等
- 園芸…野菜の定植

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和 :TEL777-3786 しおざわ基幹センター :TEL782-1171)
までお問い合わせください。